

環境と健康

地域リーダーとして邁進誓う

28人の児童・生徒の表彰 華々しく

第53回広島県公衆衛生大会



式典では、公衆衛生活動に貢献した40個人、13団体に表彰状が授与された

式典では、県知事、県医師会長および環境協理事長より公衆衛生活動において多大な成果をあげた四十個人、十三団体の功績を称え、表彰状が授与された。

次に、地区衛生組織代表者会議の宮本英暉議長による大会宣言が読み上げられた(宣言文は右下に掲載)。

この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体を称え、知識や体験の交流を通じて真に健康な県民生活の実現に寄与することをねらいとして開催している。

この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体を称え、知識や体験の交流を通じて真に健康な県民生活の実現に寄与することをねらいとして開催している。



衛協の実践活動の柱となる。続いて、「環境啓発ボスター・標語コンクール優秀作品表彰式」を実施。各市

よる実践率の高い市町公衛協へスト3が発表され、副賞として寒い冬を乗り切る省エネあったかグッズが贈られた。その後の抽選では、三種類五〇点の景品が用意され、当選地区が読み上げられるたびに会場には笑顔の花が咲いた。

大会を締めくくるプログラムは、「世界一受けたい授業」の授業。世界の海から見る地球温暖化」と題し、海洋ジャーナリストの永田雅一氏が講演を行った(講演要旨は二面)。

最後に、福山市公衆衛生推進協議会の瀬尾敏治会長

が閉会の挨拶を行い、「大会宣言の理念のもと、多様な生活課題に向かつて今後も精進したい」と大会を締めくくった。

(地域活動支援センター)

平成24年11月1日 第53回広島県公衆衛生大会

大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、あらゆる主体と協働しつつ、自主的・組織的な実践活動をおとして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。しかし、地球温暖化やごみ問題、生活習慣病の蔓延など、深刻かつ緊急を要する課題は後を絶ちません。

昨年、3月11日に発生した東日本大震災以降、快適な環境づくりや健康づくりの大切さを今一度認識するとともに、一人一人のライフスタイルの見直しが求められています。

私たちは地域の課題に早急に、かつ積極的に対処しながら、人々がより快適で健やかに暮らす活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでも増して地域リーダーとしての機能を発揮していかなければなりません。

そこで、『健やかな暮らしをつくる人々の集い』をテーマに開催するこの大会を契機に、次の6つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

- 一.生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
- 一.生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
- 一.あらゆる主体の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 一.学社融合による環境と健康の実践活動の推進
- 一.ごみ減量に向けた3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進
- 一.上記の5つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

平成24年11月1日 第53回広島県公衆衛生大会

さんせんか 琴線歌

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと

胆石症と胆道がん

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと

胆石症と胆道がんの関係は古くから議論されています。外科医は、その因果関係を根拠に予防的観点から胆嚢摘出術を推奨する傾向にあります。ところが、二〇〇九年に日本消化器病学会から発表された「胆石症診療ガイドライン」では、無症状胆石は経過観察(つまり何の治療も行わず定期的に観察すること)を推奨していますし、胆嚢(のう)がんと



環境と保健の未来をめざして

財団法人 広島県環境保健協会

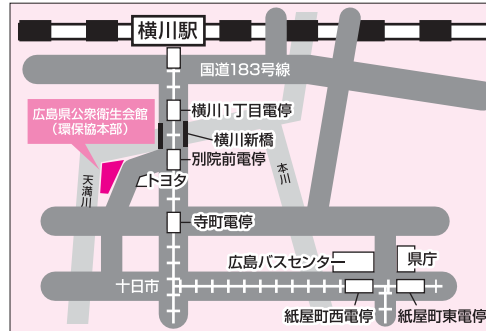
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表]

FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索



●1万人のエコチェック事業実践率一覧●

(広島県公衆衛生大会回収時点)

No	公衛協名	全委員数	実践者数	実践率	No	公衛協名	全委員数	実践者数	実践率
1	府中町	99人	46人	47%	14	安芸太田町	48人	13人	27%
2	海田町	95人	18人	19%	15	北広島町	408人	118人	29%
3	熊野町	31人	9人	29%	16	安芸高田市	300人	15人	5%
4	坂町	22人	19人	86%	17	東広島市	1,075人	164人	15%
5	江田島市	167人	71人	43%	18	三原市	400人	27人	7%
6	竹原市	87人	45人	52%	19	世羅町	484人	78人	16%
7	大崎上島町	52人	35人	67%	20	尾道市	310人	56人	18%
8	大竹市	70人	27人	39%	21	福山市	1,184人	565人	48%
9	廿日市市	285人	96人	34%	22	府中市	638人	300人	47%
10	廿日市市大野	665人	131人	20%	23	神石高原町	31人	22人	71%
11	廿日市市佐伯	21人	5人	24%	24	三次市	450人	107人	24%
12	廿日市市吉和	23人	6人	26%	25	庄原市	320人	125人	39%
13	廿日市市宮島	44人	22人	50%	26	呉市	1,959人	486人	25%

【全推進委員数】9,268人

【実践者数】2,606人【実践率】28%

【電気】

1世帯あたりの電気使用量 約524kWh
平均増減量 → 約14kWh削減

「1万人のエコチェック事業は、公衆衛生推進委員が家庭で省エネに取り組み、電気等の使用量を前年同月分と

1万人のエコチェック事業中間報告

全公衛協が参加、省エネ意識が浸透

実践率50%には届かず

比較して、その効果を数値で把握し「見える化」する事業である。三年目を迎えたこの事業、今年は全ての市町公衛協が参加し、まさしく全県で取り組む事業となった。

今年の実践率は二十八%で、県大会には二六〇六枚のカードが集まった。目標に掲げた実践率五十%以上は達成できなかったが、毎年、二一三%ずつ向上している。

今年は、昨年に比べ平均気温が高く、省エネ効果がみえにくいと予想していた。しかし、結果は一世帯あたり平均約十四%の削減となり、努力が数値に現れた。東日本大震災以降、節電に対する意識や行動は大きく変化し、エアコンの温度は二八℃に設定、「電気をこまめに消す」などの省エネ対策が多い中、今年は「グリーンカーテンをした」「車をやめ、自転車や徒歩にした」など、楽しみながら省エネを実践する人が増えた。

推進委員の任期が二年という公衛協が多く、新しい推進委員の事業への理解や省エネ意識の浸透が課題の地域も多い。その中で、実践率を向上させるため、さまざまな工夫がなされている。

①返信用封筒による回収
②事前通知や会議などの呼び掛け
③電話や訪問による督促
④カード配布時期や回収方式の変更など

今年、実践率が高かった公衛協は、坂町公衛協の八十六%、神石高原町の七十一%、大崎上島町の六十七%であり、いずれも推進委員が二十~六十名と、電話や訪問による回収が可能な地域であった。多くの推進委員を抱える公衛協の、実践率向上の鍵はカードの回収方法である。今後、カードは投函できる仕様に変わるなど、地域活動支援センターでも改善していきたい。

(地域活動支援センター)

第53回広島県公衆衛生大会講演要旨

世界一受けたいの授業

海洋ジャーナリスト 永田 雅一 氏



海の温暖化 写真で解説

森林の活用が効果的

北極の氷で、年を重ねた多年氷の厚さは五センチに及ぶ。これらが近年の夏の暑さで溶け出し、メルトポンドと呼ばれる水溜りが猛スピードで増えた。温暖化により北極海周辺の氷が大量に溶

けると、海水の塩分濃度が薄まり、軽くなる。すると海流を作り出すベルトコンベアが機能しなくなり、結果赤道近くの暖流が北に届かず、寒冷化が起る。映画「Day after tomorrow」は、二

地球のメカニズムが崩れることにより、全体のバランスが崩れる。今年九月、北極海の氷が過去最小を記録した。二〇〇七年の観測から日本列島の二割分の面積が減ったこと

海の氷はなくなるだろうという人や、地球はすでに限界点を超えていると言う人もいる。温暖化対策のため、アメリカでは地中に二酸化炭素を封じ込める吸収装置の開発も進んでいるようだ、

自分たちが何もしないのではなく、できることをしなければいけないだろう。周囲の森を増やして元気にすること。そして、各自が省エネを実践すること、この二つのことを伝えたい。CO2吸収源である木を活用することも重要。富士宮市では、伐採した剪定枝を可燃ごみで引き取っていたが、市民へ無料で利用してもらうよう資源化することで廃棄物が減った。他の都道府県でも進めてほしい活動だ。

地域のリーダー役である皆さんが周りの方へ取り組みを伝え、その運動の輪を広げることで、将来の子どものために地球環境を残していく。

(地域活動支援センター)

福山市沼隈町を中心に活動する「脱温暖化ぬまくまフォーラム」は、平成16年12月15日に設立して以来、女性会を中心に、まちづくり推進委員会・公衛協・JA・小学校と連携しながら、出前講座やマイ箸・マイバ

ッグ持参運動、環境家計簿記帳運動、緑のカーテンや段ボールコンポスト普及活動などに取り組んでいる。

中でも出前講座は、「温暖化問題と家庭でできる省エネ。をテーマに、地域の保育所や小学校、公民館を中心に実施していたが、今では、JAや病院、町外の公民館からも要望があるほど人気だ。

昨年実施した「鍋帽子づくり講座」に町外から参加した方から、自分の住む地域にも広めて省エネを推進したいと相談があり、11月15日、福山市東村町の公民館で同講座が開かれた。「鍋帽子は保温性に優れ、煮立った鍋に被せておくだけで料理が完成する。調理にかかる電気やガスの使用



「持って帰って使うのが楽しみ」と鍋帽子づくりに励む参加者たち

TEAM

地域 エコ アクション ミーティング



最前線2

③脱温暖化ぬまくまフォーラム

時間が短縮でき、省エネにつながるうえ、とても経済的。そんな優れものを、楽しみながら作りましょう」と、当協議会代表の岡田妙子さんの言葉から講座が始まり、12人が挑戦した。

鍋帽子の材料となる生地と綿は、近所の方から不要になった着物や布団、地元のカーテン業

者から切れ端を提供してもらい有効活用する。また、着物をリメイクして作った帽子やアームウォーマー、ちゃんちゃんこなども披露され、不要になったものを再利用することの大切さを伝えた。

さらに、鍋帽子の効果を体感してもらおうと、まだ大根に箸が通らない状態のおでんの鍋に鍋帽子を被せておき、講座が終了する3時間後の状態を確認した。鍋の蓋を開けると、湯気が湧き上がるほど熱く、保温効果の高さに参加者は驚いていた。そして、味の染み込んだおでんを試食しながら、「持って帰って使うのが楽しみ」と声を弾ませた。

岡田代表は、「これまで、延べ300人に鍋帽子づくりを伝授してきた。少しでも省エネに関心を持ち、活用してもらえれば嬉しい。これからも各地へ出向き、省エネの技を発信していきたい」と意気込む。

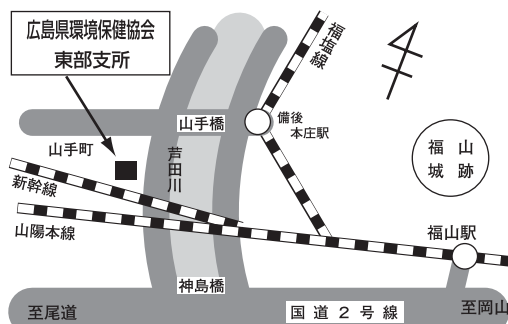
今後ますます広がる活動の『環』に期待したい。(脱温暖化センターひろしま)

※鍋帽子は、全国友の会の商標登録®です。

東部地区の検査受付は、支所でも行います!

食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など

【受付時間】月曜日から木曜日 8:30~17:30



財団法人 広島県環境保健協会

東 部 支 所

〒720-0092 福山市山手町5-32-26

TEL 084-952-0007

FAX 084-952-0009

けんこう習慣づくり

1月 毎月(むづか) 正月に健康一週間を過ごし、楽しくする月
旬の野菜/レンコン、カブ、パプリカ、ホウレンソウ、ユリ根
果物/イチゴ、オレンジ、りんご、みかん(晩生)、リンゴ
魚/アサヒ、サワラ

日	食品数	合計	歩数	自由記入
1			○・△・×	
2			○・△・×	
3			○・△・×	
4			○・△・×	
5			○・△・×	
6			○・△・×	
7			○・△・×	
8			○・△・×	
9			○・△・×	
10			○・△・×	
11			○・△・×	
12			○・△・×	
13			○・△・×	
14			○・△・×	
15			○・△・×	
16			○・△・×	

154

1月をふりかえって

日	食品数	合計	歩数	自由記入
17			○・△・×	
18			○・△・×	
19			○・△・×	
20			○・△・×	
21			○・△・×	
22			○・△・×	
23			○・△・×	
24			○・△・×	
25			○・△・×	
26			○・△・×	
27			○・△・×	
28			○・△・×	
29			○・△・×	
30			○・△・×	
31			○・△・×	

155

「2013 公衆衛生推進手帖」では、文字が大きく読みやすくなっているほか、薄型・軽量化され、透明のビニールカバーがついている

公衆衛生推進手帖は、公衆衛生活動の必読書・実践の手引書として、毎年十二月に当



「学習機能」「記憶機能」「スケジュール機能」の三本柱は、具体的には、スケジュール機能の週間部分を廃止し、健康活動の記録機能の強化や、メモページの追加、環境協と公衛協の実践活動のメニュー史ページに写真を挿入するなどの変更を行っている。

また、掲載内容も見直し、

『2013 公衆衛生推進手帖』完成

必読書・手引書として活用を

協会が作成し、県内約一万人の公衆衛生推進委員に配布している。印刷・製本に掛かる費用は、健康感謝募金環境協配分金を充てている。

この手帖は、「公衆衛生活動とは何か」「公衆衛生推進委員の役割について」など、公衆衛生活動を実践するにあたり、公衆衛生推進委員に就任された方に必要な情報をお伝えするための必読書であり、手引書として位置づけられている。

「2013 公衆衛生推進手帖」は、平成二十三年度に実施した「一万人のBESTチェックキャンペーン」のアンケート結果をもとに、手帖の仕様や構成を見直した。

まず、大きく変わった点は、薄型・軽量化に取り組んだこと。その他、文字のサイズがひと回り大きくなり、字体が明朝体からゴシック体へと変わり、読みやすくなっている。

また、手帖の耐久性を高めるため、透明のビニールカバーを採用した。



一般財団法人への移行には「移行認可申請書」が必要で、次の内容について、評議員会及び理事会での承認が必要となる。

- 定款（現在の寄附行為の変更案）
- 最初の評議員候補者・理事（代表理事を含む）・監事の決定
- 前二点を踏まえた移行認可申請の内容

定款の変更案では、当協会は「非営利が徹底した

法人」への移行を目指すことから、要件となる「残余財産の配分を行わない」「解散したときは、残余財産を国・地方公共団体や一定の公益的な団体に寄贈すること」を定め

推薦委員会」において審議・選出した。そして、理事及び監事はその後開催された評議員会・理事会で決定し、新法人で重要な意思決定を行う最初の評議員は、外部委員二名を含む五名の委員で構成される約七十億円の財産相当額を百五十八年間に亘り、公益事業に最低でも毎年四五〇〇万円を充当することとした。このようなさまざまな手続きを経て、今年六月二十八日に開催された評議員会及び理事

移行認可申請7月2日に完了

公益目的支出計画も併せて作成

新法人の評議員・理事・監事の選任では、地区衛生組織関係の候補者を代表者会議で審議・選出し、他の候補者については現評議員から三名、現理事から三名を委員とした「新法人評議員・理事・監事

れる「評議員選定委員会」を開催して決定した。移行認可申請書には、移行時に保有している財産相当額を公益のために使用することを約束する「公益目的支出計画」が必要で、当協会が保有しているため、現段階でまだ結果

は出ていない。今回は、一般財団法人への移行準備と移行後の方針について紹介する。

新法人の定款(案)

- 当協会は「非営利が徹底した法人」への移行を目指す
- ◎「残余財産の配分を行わない」
 - ◎「解散したときは、残余財産を国・地方公共団体や一定の公益的な団体に寄贈する」

公益目的支出計画

当協会の70億円の財産の有効活用
毎年4,500万円以上を支出(158年間継続)

平成23年度 BESTチェックキャンペーン報告

今から1年前の平成23年12月、県内1万人の公衆衛生推進委員を対象にアンケートを実施した『BESTチェックキャンペーン』では、平成24年7月末の時点で、およそ23%の推進委員から回答を頂いている。

公衆衛生推進手帖(以下「手帖」という)の利用についてみると、約55%の推進委員が何らかの形で手帖を利用していることが分かった(図1)。

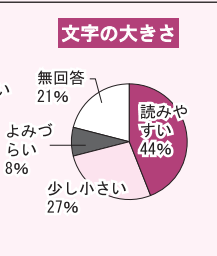
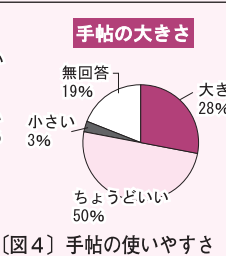
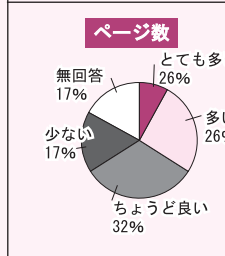
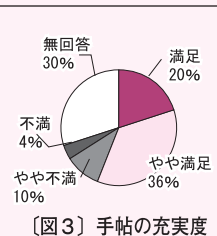
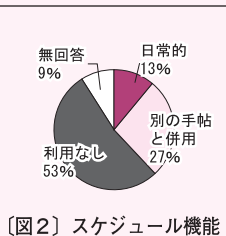
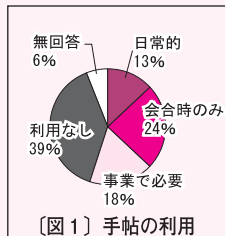
スケジュール機能では、利用しているが40%、利用していないが53%となり(図2)、スケジュールの使い方や配布時期などが異なる点で、利用の少ない理由として挙げられている。

手帖の総合的な充実度については、約56%が満足しているの回答があり(図3)、手帖の使いやすさについてみると、サイズは、ちょうど良いが50%、大きい28%でした。文字の大きさは、44%が読みやすい、27%が少し小さいとの回答だった(図4)。

自由記述欄では、「現状のもので便利」「メモページが少ない」「手帖自体が無駄ではない」「サイズが大きい」「持ち運びのに重たい」「情報量が多すぎる」など、さまざまなご意見を頂いている。

地域活動支援センターでは、これらの回答から、手帖は概ね受け入れられているが、改善の余地ありと捉え、今回の改訂に反映させている。今後も、利

推進員の約55%が利用 愛用される手帖づくりを目指して



用者の声を聞く場を設け、公衛協活動に無くてはならない必読書として、推進委員の皆様へ愛用される手帖づくりを目指していく。(地域活動支援センター)

職場環境は快適ですか？

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド(ホルマリン)について、作業環境測定を行う必要があります。当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。お気軽にお問い合わせください。

○問合せ先 ○ 〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
(財) 広島県環境保健協会 環境生活センター 環境調査課
TEL: 082 (293) 1511 (大代表) FAX: 082 (293) 5049 URL: <http://www.kanhokyo.or.jp/>





木や草の葉で里山を表現し、ラミネート加工したクラフトを木の枝で額縁風にアレンジ（上）、竹で作ったスタンドにスケッチを飾る（右）



木の葉を集めて魅力的に表現 ストーブを囲んで冬の自然をスケッチ

七塚四季の環境学習



⑤里山のクラフトを楽しむ

十二月の声を聞くと急に寒さが厳しくなります。七塚高原では、スタッドレスタイヤをはかないと行動できなくなりです。赤い木の実是一段と華やかさを増し、落葉樹は「もう限界だ」と言っています。来る日も来る日も木の葉の雨を降らします。なぜかヤマコウバシとカシワは、まだ落ちるもんか」と言っています。

冬は、雪合戦、雪洞作り、そり遊びが定番ですが、今回はストーブを囲んで冬の自然（木の葉・木の実など）を使った里山のスケッチについて紹介します。

まず、里山の散策をしながら材料集めをします。あまりポリウムのあるものは、コピーやラミネートに不向きなので、美しい木の葉や花びら、細い枝、木の実、草の葉などを集めます。あらかじめスケッチの構想があれば無駄なく

一二月は脳卒中のシーズン。新聞に出る有名人の死亡記事も脳出血、脳梗塞、それに心臓病など血管系の病気が多い。「脳卒中」という言葉、実は一つの病名ではない。疾患の状態を言っているのである。脳の血管障害により、急に意識障害が起って片麻痺になる典型的な症状。寝たきりになることも多い。つらい療養生活のはじまりだ。（ねたきりのわがつかみだし銀河



③「一日一会」冬を元気に

の尾」秋元不死男。「卒中」は、卒然として中（あたるの意味。昔は原因がよく分からなかったから、中風、中気などと呼ばれ、恐れられていた。「中風」は風にあたる意。風、寒、暑、湿、燥、火など気象因子を六因と言ひ、そのうち風にあたって倒れたと思われたのが中風である。「中気」は喜、怒、憂、思、悲、恐、驚の七情のうち、怒を主とした感情の昂ぶり、つ

脳卒中のシーズン到来

毎日の自分との出会いを大切に



まり気にあたった病のことである。物事に興奮して脳内出血で倒れたりするのが中風に相当する。このように中風は外因説、中気は内因説と分けたところが興味深い。脳卒中は、わが

国の代表的な国民病。極寒は危険な季節だから注意しなければならぬ。脳卒中の前ぶれには、（一）急に片方の眼が見えにくくなる、（二）寝ぼけたように意識がもうろうとする、（三）片側の手足が

痺れて力がなくなる、（四）ひどいめまいがする、（五）ろれつがまわらなくなり、急に言葉が出なくなる等がある。「生老病死」は人の常。だが、日頃から気をつけていれば元気で長生きできる。一期一会、一期一生、いや「一日一会」と思って、「毎日の自分との出会い」を大切にしたい。「俳句は自分と出会う作法」でもある。（太陽俳句会主宰 務中昌巳 著「俳句セラビ」北漢社抜粋）



⑤ 降雪量の変化

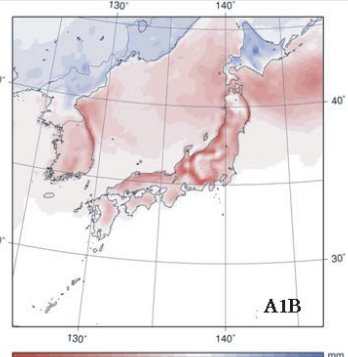
これまで、地球温暖化に伴う気温の上昇、大雨日数の増加について紹介しました。今回は冬場の降雪量について話します。

広島県も県北は国の豪雪地帯の指定を受けており、積雪により住民は不便を強いられます。一方でスキー場はこの恩恵を受けて、経済効果を生み出します。温暖化に伴う雪の降り方の変化は、人々の生活や経済活動の変化にも関係してきます。

気温上昇で冬場の雨量が増加 生活や経済活動に影響も

気象庁が21世紀末における寒候期（12～3月）の総降雪量の変化を予測した結果を図に示します。赤い色は現在より降雪量が減り、灰色は増えることを示しています。北海道で灰色が目立ち、そのほかは赤色が目立ちます。

冬場に雪が増えるかどうかは、冬場の降水量の増加と気温の上昇量の両方を考慮して議論しなければいけないので、少々厄介です。気象庁の予測では21世紀末の寒候期の降水量は、北日本ほど増加するとしています。北海道は冬場の降水量が現在より20%前後増加すると予想されており、気温の上



気象庁による将来気候（2081～2100年）寒候期の総降雪量の将来変化予測

昇量を考えても、北海道が高緯度のため気温が低く、降水形態は大半は雪であることから、降雪量の増加につながります。一方、本州では降水量は

増えるのですが、気温上昇効果が雪を雨にする方向につながり、その結果降雪量が減るのです。広島県もそれに当たります。細かく言うと、広島県で雪が降るパターンは大きく分けて2つに分けられます。一つは、主に山間部で雪が降るパターンで、大うひとつは瀬戸内海側で雪が降るパターンで、四国の太平洋側で発達する低気圧によって降雪がもたらされるものです。山間部に比べて気温が高いために、湿った重い雪になるケースがほとんどです。将来は、山間部中心の降雪は、気温上昇の効果で雪であったものが雨になってしまうことにより、スキーに適した十分な積雪量とならなかったり、また雪質も北海道のような寒い地域で見られるさらさらした雪から湿った雪に変わっていく可能性があります。

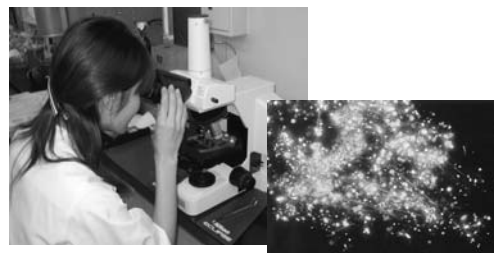
また、瀬戸内海側で四国沖低気圧によってもたらされていた雪が、気温上昇により雨になるケースが増え、降雪日数が減少していくことが予想されます。（広島地方気象台 観測予報課 岡崎 賢治）

アスベスト分析（当会では6種類の分析が可能になりました） 「健康被害拡大で無警戒の石綿を対象とした法律の見直し」

平成20年2月に厚生労働省からアスベスト6種類分析の徹底に関する通達が出されました。これにより、アスベスト分析においては、従来の3種類{アモサイト、クリソタイル、クロシドライト}に新たに3種類{アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト}を加えた6種類の分析が必要になります。

※ご要望により試料採取の対応を行います。詳細は、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ：財団法人広島県環境保健協会 環境生活センター 業務開発課 電話：082-293-0163（ダイヤルイン）FAX：082-293-8915





⑧ バームクーヘン
バードコール

おいしく、学びのきっかけに 我慢強く焼き上げよう

「バームクーヘン」
今回は、山の木を使ったおやつづくりを紹介します。皆さんはバームクーヘンを知っていますか？木の年輪のように見える欧州発祥のおやつです。子ども会や地域イベントなどで、子どもたちと簡単に楽しめると同時に、木や山について考えるきっかけづくりとして活用できます。

まずは下準備。切り出してきた竹の節の近くに、きりど

【バードコール】
皆さんはバードコールという道具をご存知でしょうか？読んで字のごとく、鳥を呼ぶ

バームクーヘンレシピ



準備物

☆新鮮な竹
☆きり
☆のこぎり
☆ボール
☆お玉
☆バームクーヘン
☆アルミホイル

☆生地
ホットケーキミックス:200g
水または牛乳:180mL
お好みで・・・
卵:2個
バター:50g
さとう:80g
バニラエッセンス:少々

- 1 竹を切り出す（直径5cm・長さ1.5m程度）
- 2 節ごとにキリで穴を開け、竹を洗いきれいにする
- 3 竹の中央部分をコンロであぶり、油を出す
- 4 生地をコンロの近くに準備し、竹のあぶった部分に生地を一周まんべんなくかける
- 5 竹を回しながらコンロに戻し、焼き色がつくまで焼く
- 6 焼けたら、再び生地をかけて焼く
- 7 5 6の作業を、準備した生地が無くなるまで繰り返す
- 8 焼きあがったら、あら熱を取り、竹の片側の根元を切り落とす
- 9 竹を抜き、カットしてでき上がり



狛から観察の道具へ

鳥たちの生活も考えて使用を

屋の打楽器コーナーなどで買

法律で禁止されているため、

自然に触れ合うため、さま

アウトドア用品店や、楽器

音響機器などを利用した狛が

場所です。長く使っていると、鳥



切り出した枝に穴を開け、ネ

水質検査のご案内

井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ



検査

適合

不適合

相談

問題解決

再検査

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください ☎ 082-293-0163

広島県では、
一年に1回水質検査を
行うことを推奨しています。

HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
広島県環境保健協会
(水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関)
広島市中区広瀬北町9番1号

小学校の授業に校外ティーチャー 環境にやさしい農業 児童に伝える



カマを使って刈り取られた稲をはずかしにする

10月2日、東広島市久芳

環境にやさしい農法を目指すべく、久芳小

ガモの飼育は、学校内の鶏舎

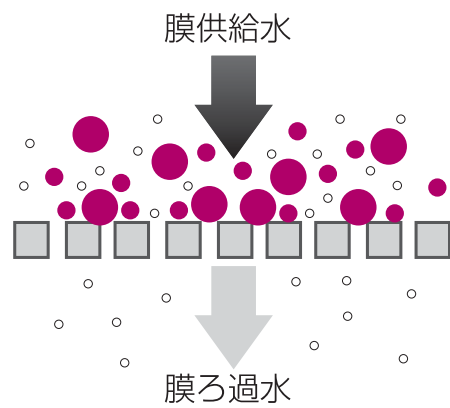
稲刈りの日、児童たちはカ

刈った稲は、は

東広島市久芳地区公衛協では、今後も児童

(地域活動支援センター)

(地域活動支援センター
馬場田 真二)



塩素耐性微生物を完全に除去 小規模でも設置が可能



④ 膜ろ過方式

今回は、浄水処理の一つである膜ろ過方式についてお話しします。

膜ろ過方式とは、多孔質な膜に水道水の源となる原水を通すことにより粒子状の物質を除去する方法です。膜には孔径により、限外ろ過(UF)膜、精密ろ過(MF)膜、逆浸透(RO)膜などがあります。このような膜分離技術は、いろいろなか所で使用されており、最も身近なところでは家庭用浄水器で使用されています。

これまでに紹介した緩速ろ過方式や急速ろ過方式といった浄水処理方法では、ろ過砂の中に水を通すことにより少しの不純物を取り除きます。これに対し、精密ろ過(MF)膜は、0.1〜数μm程度の孔径より大きな懸濁物質、コロイド粒子等を取り除きます。さらに、最近よく使用される

ように、最近よく使用される

よになつてきた限外ろ過(UF)膜は、0.1〜数μm程度の孔径より大きな粒子は、ほぼ完全に除去することができ、したがって、原水に含まれている微細な細菌や大腸菌、塩素耐性微生物なども取り除き、安全な水道水を作ることができます。ただし、膜ろ過方式は、膜に水を通過させて水中の物質を濾(こ)しているため、定期的な膜の洗浄等のメンテナンスが必要となります。

膜ろ過を使用した浄水施設は比較的小規模で設置が可能であり、場所の制限を受けにくい利点があります。膜ろ過の技術は今後さらに発展すること、さまざま

訂正とお詫び

本紙前号(2012年10月15日発行)の本欄で掲載した写真の引用文に誤りがございました。

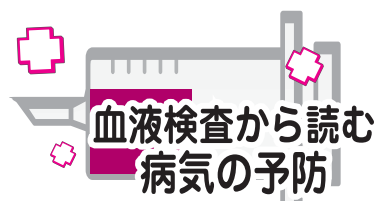
【誤】三原市水道局から提供

【正】三原市水道部ホームページからの引用

謹んでお詫びいたします。

(編集部)

(分析二課 花澤 崇憲)



⑤ 肝機能検査

年末年始は忘年会や新年会と、何かと飲酒の機会が増える時期です。そこで今回は、飲酒とも関連の深い肝疾患について取り上げます。健康診断で行われる肝機能検査の一般的な項目は、ALT(GPT)、AST(GOT)、γ-GTPです。これらはさまざまな臓器に含まれる酵素で、臓器が損傷すると細胞の中から血液に漏れ出て

高値になります。ALT(GPT)は、特に肝臓に多く含まれることから、肝疾患の特定には欠かせない検査です。AST(GOT)は、肝臓以外に心筋や骨格筋、血液中の赤血球にも多く存在するので、

肝臓病を引き起こす原因の一つは生活習慣です。お酒の飲み過ぎや食べ過ぎによる肥満は、肝臓に脂肪が溜まって脂肪肝という状態になり、肝機能の低下を招きます。さら

感染によるものです。肝硬変や肝がんに移行する可能性が高くなり、感染を調べるには肝炎ウイルス抗体などの検査が必要です。肝臓は、異常があってもなかなか自覚症状が現れにくく、

知らず知らずのうちに病気が進行していくことから「沈黙の臓器」と言われています。肝臓の負担を軽くするためにも、脂肪の多いメニューは控え、お酒は適量を心がけましょう。また、年に一度は健康診断を受けて、検査の結果で異常を指摘されたら、早めに医療機関を受診しましょう。(臨床検査課 入迫 真寿美)

脂肪の多い食事を控え、お酒は適量に！



AST(GOT)だけが低いときは心筋梗塞や血液疾患なども疑われます。γ-GTPは、アルコールに対して敏感に反応することから、お酒の飲み過ぎを原因としたアルコール性肝障害の指標となります。

に暴飲暴食を続けると、脂肪肝→慢性肝炎→肝硬変→肝がんへと移行する可能性があります。もう一つ知っておきたい原因はウイルスです。ニユー・スでもよく耳にするB型肝炎・C型肝炎は、ウイルスの

暴飲暴食を続けると



脂肪肝 → 慢性肝炎 → 肝硬変 → 肝がん



⑤ アスファルト舗装

私たちがいつも利用している道路の構造は、前回の「身近な材料試験④土質試験」で述べたとおり、上からアスファルト舗装、路盤、路床と大きく分けて3層構造で構成されています。

今回は、一番上のアスファルト舗装について述べたいと思います。

アスファルト舗装で問題となるのは、「わだち掘れ」と呼ばれる車両が通過するとき起こる線状のくぼみや、温度差等による「ひび割れ」などがあります。

これらは、現場の条件にもよりますが、アスファルトの量や骨材の配合によって大きく影響を受けることもあり、適正な配合や品質管理が課題となっています。

材料試験室では、アスファルト混合物のアスファルト量や骨材の配合を調べるために「抽出試験」を行っています。この試験は、アスファルト混合物を入れた容器に溶剤を注入して溶かし、遠心分離によってアスファルトと骨材を分離して性状を調べるものです。また、アスファルト混合物の締固め度合いを調べる「密度試験」や強度を調べる「マーシャル安定度試験」、わだちの度合いをみる「ホイールトラッキ

ング試験」も行っています。これらの試験は、アスファルト舗装の配合設計を行う上で、最も重要なデータとなっています。

これらのデータは、工事ごとに提出を求められてい

る日常管理結果(骨材の配合等のデータ)の提出を省略できる「アスファルト混合物事前審査制度」に活用されます。当協会は、この制度の指定試験機関となっており、広島、山口、島根県内のアスファルト業者を対象に上記の試験を行っています。

厳しい検査を行った上で造られた道路は、歩行者や自動車をはじめ、食品や日用品などを運搬したり、道路の地下に電気やガス、水道などのライフラインの設置、災害時に

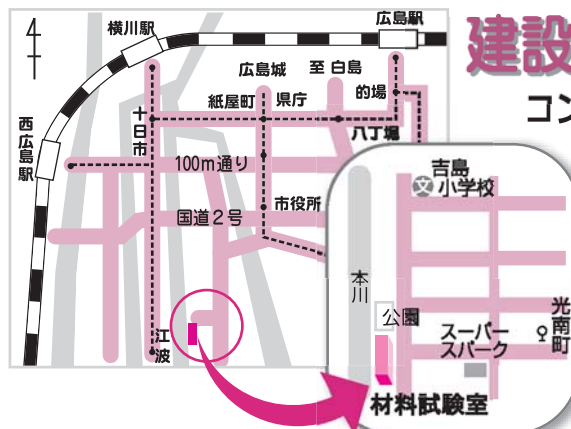
おいては、延焼の拡大を防いだり、避難経路にもなっています。昨年3.11の東日本大震災の際は、道路復旧が最優先で行われ、多くの人の生命が助かったことは記憶に残っていると思います。

材料試験室では、このように品質の高いアスファルト混合物を作るための基礎データを提供し、道路の安全性確保に貢献しています。

(材料試験室 世波 宏之)



ホイールトラッキング試験機



建設工事材料の各種試験を受付！

コンクリート試験、骨材試験、アスファルト試験など

【受付時間】月曜日から金曜日 8:30~17:30

財団法人 広島県環境保健協会
吉島分室(材料試験室)

〒730-0825 広島市中区光南3丁目13番

TEL (082) 249-9535

FAX (082) 249-6473

浄化槽は、家庭などからのし尿と雑排水を適正に処理し、河川等の水環境を保全する生活排水処理施設です。微生物の働きを利用して処理する施設であるため、微生物が活動しやすい環境を保つよう適正な維持管理がなされて、初めてその機能を発揮します。

今回は、三回のシリーズで、浄化槽の適正な維持管理や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換など、浄化槽が、地域の良好な水環境を守る施設として、その機能を発揮していくための課題等についてお話させていただきます。

良好な水環境を保全するために 保守点検、清掃、法定検査をしっかりと



① 適正管理

浄化槽は、トイレのほか風呂や台所などの生活排水をきれいに処理して放流する日本発の世界に誇れる技術です。生活様式の欧米化やトイレの水洗化への社会的要望の高まりから、昭和三十年代に微生物がもつ汚物の分解能力を活用した装置が開発され、その後、急速に普及していきました。

浄化槽の利点は、例えば、個別分散型施設で、処理水はその場で放流され、河川・水路等の水量の変化が小さく水循環を維持することができ、また、車一台程度の広さで設置でき、管路が不要なうえ、離散的集落等では整備の経済的メリットがあるほか、公共下水道などの集合処理施設に比べて、地震などの災害にも強いとの評価もあります。

一方で、浄化槽は、各戸でそれぞれ適正に維持管理されて初めて本来の処理性能を発揮するもので、課題もあります。汲み取り便所と違い、水洗化した浄化槽は、生活排水を処理して放流します。もちろん、適正に維持管理している浄化槽であれば放流水は、汚物ではありませんが、そうでない浄化槽の処理水が放流されているとすれば、皆さん、どのように感じますか。浄化槽の処理水を流す際には、法律などで決められたルールをお互いさまで守る謙虚な気持ちが必要ではないでしょうか。お互いの責務を果たさないと、無意識のうちに加害者にも、被害者にもなってしまう。

みなで、浄化槽の維持管理（保守点検、清掃、法定検査）をしっかりと行い、身近で

きれいな水環境を取り戻し、幼い頃あったホタルが飛び交う小川のせせらぎを、子や孫に残してあげましょう。

今回は、浄化槽管理者による適正な維持管理の促進などについてお話しします。

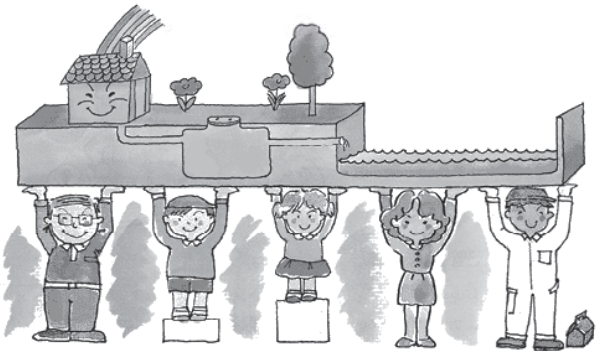
(広島県環境県民局 循環型社会課)

浄化槽は、トイレのほか風呂や台所などの生活排水をきれいに処理して放流する日本発の世界に誇れる技術です。生活様式の欧米化やトイレの水洗化への社会的要望の高まりから、昭和三十年代に微生物がもつ汚物の分解能力を活用した装置が開発され、その後、急速に普及していきました。

浄化槽の利点は、例えば、個別分散型施設で、処理水はその場で放流され、河川・水路等の水量の変化が小さく水循環を維持することができ、また、車一台程度の広さで設置でき、管路が不要なうえ、離散的集落等では整備の経済的メリットがあるほか、公共下水道などの集合処理施設に比べて、地震などの災害にも強いとの評価もあります。

一方で、浄化槽は、各戸でそれぞれ適正に維持管理されて初めて本来の処理性能を発揮するもので、課題もあります。汲み取り便所と違い、水洗化した浄化槽は、生活排水を処理して放流します。もちろん、適正に維持管理している浄化槽であれば放流水は、汚物ではありませんが、そうでない浄化槽の処理水が放流されているとすれば、皆さん、どのように感じますか。浄化槽の処理水を流す際には、法律などで決められたルールをお互いさまで守る謙虚な気持ちが必要ではないでしょうか。お互いの責務を果たさないと、無意識のうちに加害者にも、被害者にもなってしまう。

みなで、浄化槽の維持管理（保守点検、清掃、法定検査）をしっかりと行い、身近で



水辺教室の講師を務める原さん

としての思いについて語ってもらった。

◆これまでの活動について

大学生・大学院生時代で専攻した生態学の知識を活用

環境保全活動の支援を行ってききました。現在は個人的な活動ですが、これまで行っている生物のモニタリング活動で、その結果を地域住民に還元する報告会や情報提供を行っています。

◆カウンセラーになったきっかけ

◆これから住民と一緒に取り組みたいこと

生物から見た環境情報を提供 水辺教室講師として活躍

みんなの助っ人！ 環境 カウンセラー

はら たつや
原 竜也

【登録年度】平成17年度・市民部門
【専門分野】環境教育、自然観察（植物、とり、水生生物、昆虫、星空等）
【活動エリア】広島県内全域、県外

用し、環境教育を用いた地域づくりを行ってきました。特に、地域活動支援センター在籍中には、広島県内の各所で実施される水辺教室（河川における生物を主体とした環境学習活動）の講師として、公衛協が子どもたちと取り組む

かけ 大学院生のときに、縁があった水辺教室に参加した子どもたちが、体験によってどのような変化があったのか知りたいものです。追跡調査は難しいかもしれませんが、活動の評価としては大切なことだと思っています。できる限り成果・評価ができるよう、情報収集をしていきます。

これまで講師として関わった水辺教室に参加した子どもたちが、体験によってどのような変化があったのか知りたいものです。追跡調査は難しいかもしれませんが、活動の評価としては大切なことだと思っています。できる限り成果・評価ができるよう、情報収集をしていきます。

◆環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局（広島連塾S u s ☆ アドレス）（〇九〇一四〇三五一九七九四・担当大西）まで

当協会では、イベントや学習会で活用いただけるよう、さまざまなグッズを貸し出しています。

シリーズ4回目は、12月の『地球温暖化防止月間』にちなみ、温暖化問題やその対策について学んだり、体験を交えながら啓発できるグッズを紹介します。

環境と健康の学習ルーム 貸し出し グッズ紹介

④ 脱温暖化推進キット

◆ パネル

温暖化のメカニズムや原因、被害、家庭でできる対策についてまとめた「温暖化防止啓発パネル」、さまざまな被害を写真で紹介する「温暖化写真パネル」、広島県内への被害をまとめた「広島県の温暖化影響パネル」などを揃えています。

◆ 体験キット

ハンドルを回し、照明ランプを点灯させるために必要なエネルギーの違いを体感する「LED・蛍光灯・白熱球エネルギー比較実験器」、家電の消費電力・待機電力・CO₂排出量などを瞬時に確認できる「ワットアワーメーター」、自転車をこいで発電し、家電を動作させる「エネトレ」、エコクッキングに役立つ「保温調理グッズ」

などを揃えています。

～活用事例～

福山市駅前東学区公衆衛生推進委員会は、学区文化祭において「温暖化防止啓発パネル」と、オリジナルの「エコライフ・アンケートボード」を展示。

アンケートボードには、「外出時、家電のプラグをコンセントから抜く」「使っていない部屋の照明はこまめに消す」など5項目を提示し、来場者に普段実践している項目にシールを貼ってもらった。単にパネルを見てもらうだけでなく、体験を交えて温暖化問題への関心を高め、

対策の重要性を啓発した。

また、「ワットアワーメーター」を活用し、テレビなどの「待機

電力、も確かめてもらい、家庭での省エネ行動を促進した。

その他、DVDや紙芝居、イベントで啓発活動をPRする「はんでん」や「のぼり」などを揃えており、当会HP (<http://www.kanhokyo.or.jp/>) でも紹介しています。

今回は、2月の『省エネルギー月間』にお勧めのグッズを紹介します。

(地域活動支援センター)

最先端のオプション検査のご案内

肥満遺伝子検査

～DNAから考える肥満解消の新時代～

同じものを食べても太りやすい人とそうでない人がいます。これは一人ひとりの「体質」や「遺伝子」が異なるためです。日本人に関係が深い3種類の遺伝子（DNA）を調べて、あなたの体質をチェックしてみませんか？（隠れ肥満が心配な女性にも最適な検査です）

検査料金：6,300円（税込み）

【お申込は】財団法人広島県環境保健協会 健康クリニック
電話（082）232-4857





◆集まることであったまろう。衣食住の工夫を環境省が呼びかける「ウォームビズ」が11月1日から始まった。暖房機器に頼りすぎず、暖かく、格好良い着こなしを呼びかけるもので、期間は来年3月末まで。

ウォームビズは、地球温暖化対策の一環として2005年秋にスタート。東日本大震災後に各地の原子力発電所が停止し、節電も目的に加わっている。

今冬は取り組みの一環として、暖房の利いた部屋にみんなで集まる「ウォームシェア」を提唱。家族がリビングなどで一緒に過ごしたり、友人と公共施設やデパートに出掛けたりする機会を増やし、暖房使用の削減を図る。

地域で気軽に集まって温まる場所を「ウォームシェアスポット」と名付け、ホームページで公開。利用者がウォームスポットを検索したり、掲載することでもできる仕組みだ。

このほか、保温性に優れた服を着ることや、体が温まりやすい鍋料理なども推奨し、「衣食住の工夫で冬場の室温を20度に」と呼びかけている。

◆世界の平均気温、122年間で最高 9月

気象庁は、9月の世界の平均気温（速報値）が平年に比べ0.24度高く、9月としては1891年に統計を開始して以来122年間で過去最高だったと発表した。太平洋高気圧に覆われた日本などで晴れの日が続いたことに加え、今年夏に発生したエルニーニョ現象の影響で、太平洋熱帯域の海面水温が高かったことなどが要因という。

陸上約1,600地点、海上約6,700地点で得られた観測データを、1981～2010年の30年間の9月の平均である平年値と比べ算出した。

同庁によると、9月の平均気温が平年を1.92度上回り観測史上最高を記録した日本に加え、シベリアや欧州東部、北米西部、南米南部でも高温を記録した。高気圧に覆われて晴れの日が続いたことや、南から暖かい空気が流れ込んだことが要因という。

◆新規就農者が2年ぶりに上向き

農林水産省の統計によると、昨年は全国で約58,120人が就農。前年比3,550人増と2年ぶりの増加で、特に農業法人に就職する形で参入した「新規雇用就農者」は同11%増の8,920人と、06年の統計開始以来最多になった。

高齢化や後継者不足で農業人口の減少が続く中、新たに農業を始める人々の動向に注目が集まる。国が導入した新たな就農支援策も好評で、農業の衰退に歯止めをかける効果が期待されている。

新規就農者には、「自営農業就農者」「新規参入者」「雇用就農者」の3つの類型があり、顕著に増えているのが農業法人などに常勤で雇われる「雇用就農者」である。06年の6,510人に対し、昨年は8,920人と5年間で37%の増加となった。新規就農者全体に占める割合も、8%から15%へと高まっている。また、雇用就農者は39歳以下の若年層が66%（新規就農者全体では24%）を占めている。

◆「広島県がんよろず相談医」始まる

広島県は、新たながん対策「広島県がんよろず相談医」の活動を、広島県医師会と協力して取り組むこととし、11月7日に県医師会と協定を締結した。

この活動は、県民に身近な「かかりつけ医」を「広島県がんよろず相談医」に認定し、治療などで医療機関を訪れた患者に対し、医師が診療の合間にごん検診の受診勧奨を行ったり、がん医療に関する相談を行ったりするもので、全国で初めての取り組み。

この取り組みを通して、県民がどこに住んでいても、がん検診を適切に受診でき、最適ながん医療に繋がっていくことを目指す。

県は、県医師会へ委託して研修を実施し、研修修了者を「広島県がんよろず相談医」として認定。認定されたドクターには、院内掲出用の認定プレートが交付される。相談医の公表、サポート開始は、平成25年3月1日からを予定。（問い合わせ先：健康福祉局がん対策課 電話 082-513-3063）

◆小児科・産科 18年連続で減少

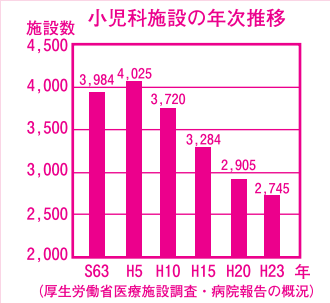
厚生労働省の調査で、小児科や産科がある病院の数は、少子化や医師不足などを背景に18年連続で減少していることが分かった。厚生労働省は、全国の病院が設けている診療科などを毎年調査していて、このほど昨年度の調査結果がまとまった。

それによると、小児科がある病院は去年10月現在、全国で2,745施設で、前の年の同じ時期より63少なくなり、産科や産婦人科がある病院も1,395施設と、37減少。いずれも18年連続で減少していて、20年前に比べると小児科は33%、産科、産婦人科は43%が減少した。

ベッド数が19床以下の診療所では、小児科が19,994施設、産科、産婦人科が3,619施設で、21年前の調査に比べておよそ30%から40%、少なくなっている。

これについて厚生労働省は、少子化や慢性的な医師不足に加え、最近では休日や夜間の診療態勢を整えるため、地域の拠点となる病院に医師を集約し、医師の少ない病院や診療科を閉鎖する傾向が強まっているとみている。

厚生労働省は、小児科や産科などの診療報酬を加算したり、文部科学省と連携して地方大学の医学部の定員を増やしたりして、診療科や地域による偏りを緩和していくことにしている。（文責：地域活動支援センター）



県内の水道事業に携わる関係者が参集

十一月七日、当協会が主催する「平成二十四年度 保健所・市町水道担当者研究協議会」が開催され、広島県をはじめ、県内の水道事業に携わる関係者三十二団体、総勢五十四人が参集されました。

近光理事長の挨拶の後、広島県健康福祉局 食品生活衛生課 荒川課長、広島市水道局施設部 伊藤施設担当部長から挨拶をいただきました。特別講演は、武蔵野大学客員教授 安藤正典先生から「水道事業体における登録検査機関による水質検査と水質管理の在り方」と題して、安心で安全な水道水を管理・監視、そして供給する立場である行政、水道事業体、当協会を含む登録検査機関三者の現状を踏まえた課題と責務について、ご講演いただきました。これに続き、広島市水道局施設部水質管理課の加登（か）さんより「主事から一残留塩素管理について」と題し、水道水の消毒に使用する次亜塩素酸ナトリウム添加濃度について、適切な管理のもと、適度な濃度で維持し、添加するため

の検討報告がありました。私たち登録検査機関が携わる水質検査は、水道水のリスク管理の最後の砦です。検査結果について信頼性や品質保証の向上を怠ることなく努力し、重要なライフラインである広島県下の水道水の安全性を守っていきたいと考えております。（業務開発課 工藤 正）

保健所・市町水道担当者研究協議会開催

県下の水道水の安全を守る

環境協 本館屋上の一部を緑化

資材に浄水汚泥や間伐材使用

当協会は、平成二十二年三月に「脱温暖化推進計画」を制定して以来、事業活動によって排出されるCO₂の削減に取り組んでいます。計画の最終年度となる今年度も、引き続きLED照明や遮熱フィルム（省エネ型空調設備）の更新などを積極的に推進しているところです。

十月には、新たな取り組みとして、本館屋上の一部を緑化（三十四平方メートル）しました。当初のねらいは、ヒートアイランド現象の抑制と直下にある講堂の省エネでしたが、ベンチを六基設置することで、職員の休憩スペースとしても活用することになりました。

屋上緑化の施工に際しては、資材にもこだわりました。植栽土は、軽量で保水力などに優れた広島県内の上水汚泥リサイクル材、花壇枠とベンチは広島県内の杉の間伐材を使用しました。また、緑化の植物には、クマツヅラ科イワダレソウ（在

来種）の改良種であるクラブピアを植栽しました。クラブピアは、しっかりとした緑地帯を形成するほか、耐暑性や耐寒性に優れているなどの特徴があります。さらに、春先には小さな白い花を咲かせ、夏まで目を惹きつけてくれます。現在は、植物の被覆途中でありますが、当協会にお越しの際はぜひご覧ください。（総務課）



クラブピアを植栽した屋上緑化

健康感謝募金

～地区衛生組織活動資金募集～

市町別一覧表
(平成24年11月末現在)

市町名	募金額 (円)	達成率
呉市	8,298,110	149.2
府中市	1,502,050	140.7
海田町	2,608,252	441.5
熊野町	1,454,420	282.2
坂町	0	0.0
江田島市	2,021,620	308.9
竹原市	1,805,800	279.7
大崎上島町	0	0.0
大竹市	2,078,365	331.5
廿日市市	3,421,016	221.3
廿日市市佐伯	442,022	181.1
廿日市市吉和	86,300	433.7
廿日市市大野	2,539,900	450.5
廿日市市宮島	212,500	490.8
安芸太田町	791,300	465.1
北広島町	1,192,800	292.4
安芸高田市	1,478,599	223.5

健康感謝募金

総額

58,454,576円

健康感謝募金は、昭和35年から実施し、平成24年度で53回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

【健康感謝募金Q&A】

Q：環境協配分金ってどのように使われているの？

A：健康感謝募金は次のような割合で公衛協と環境協に配分され、公衛協活動に活用されています。

<配分方法>

市町公衛協配分金	目標額の60% + 突破額
環境協配分金	目標額の30%
事務費配分金	目標額の10%

※目標額：50円×世帯数（住民基本台帳による）

<環境協配分金の使途>

- 2013公衆衛生推進手帖の作成・配布
- 推進委員養成に係る各種研修会の開催（基礎研修、専門研修（基礎研修の開き方コース、広報・ツールづくり）、合同研修など）
- 全県共通事業（重点メニュー）の推進
 - ◎広島発・瀬戸内海美化大作戦
 - ◎1万人のエコチェック事業
 - ◎公衛協発ウォーキング事業
 - ◎1万人の食チェック事業

※この表は、11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。